

SDGsを通じた持続可能なまちづくりに係る連携協定の概要について

令和2年9月24日

国立大学法人九州大学大学院芸術工学研究院
薩摩川内市

1. 連携協定の目的

SDGsに基づいた先進的な持続可能な社会モデルを構築するため、調査、研究及びモデル事業の実施について連携協定を締結するものである。

2. 背景・経緯

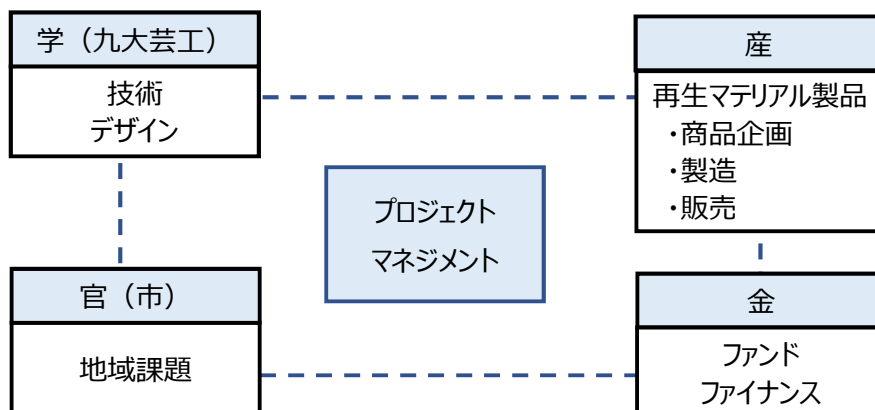
- ・大量生産・大量消費により成り立つ線形経済は、都市へのモノ・カネの過度な集中を招き、大量廃棄などによる環境問題を引き起こしている。この問題は、例えば新興国での廃プラスチック問題に代表されるように、大量に発生する廃棄物が都市の処理能力の限界を超え、環境破壊の原因になっている。
- ・現在、国（経済産業省）において「循環経済ビジョン2020」を策定するなど、資源投入量や消費量を抑えた循環経済への転換が唱えられている。
- ・本市及び薩摩川内市土地開発公社が策定予定の「川内港久見崎みらいゾーン産業立地ビジョン」においては、提案型の産業立地施策を進め、次世代の産業を担っていく新興企業や起業家を育成する新しい産業集積に取り組むことにしている。
- ・これらの実現にあたり、同研究院と共同で研究・実証事業等を実施することになったもの。

3 連携協力する事項

主に次の事項についての計画・設計、実証、検証、啓発及びデザイン活用について連携協力する。

- (1) 廃棄物全般に関わる循環の仕組みづくりに関すること
- (2) 食品生産や食品廃棄など、「食の循環」に関すること
- (3) 循環型素材を活用した繊維やデジタル技術を活用した端材の少ない衣服のデザインなど、「衣の循環」に関すること
- (4) 地域の素材やデジタル技術を活用した住環境の設計や建築など、「住まいの循環」に関すること
- (5) 循環型デジタルサービスに関すること
- (6) 基本的インフラに関すること

4. 再生マテリアルの製品開発におけるスキームイメージ



5. 研究内容とスケジュール (予定)

- 令和3年度 循環製品等に関する情報基盤整備
- 令和4年度 マテリアルライブラリー¹構築のための科学技術・工学技術開発の研究
- 令和5年度 循環製品・サービスの設計と製品化、開発拠点の設置
- 令和6年度 循環製品のサプライチェーン²モデルの構築、関連企業の立地 (誘致)

《問合せ先》

■薩摩川内市

商工観光部 商工政策課 担当：白桃、川畑
〒895-0850 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号
Tel : 0996-23-5111 Fax : 0996-20-5570
E-mail : kigyo@city.satsumasendai.lg.jp

■九州大学大学院芸術工学研究院

(協定・研究に関すること)

芸術工学研究院 デザインストラテジー部門 担当：稲村
Tel : 092-553-4629
E-mail : inamura@design.kyushu-u.ac.jp

(広報に関すること)

芸術工学部事務部総務課企画・広報係 担当：生野
〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1
Tel : 092-553-4407 Fax : 092-553-4593
E-mail : gkskoho@jimu.kyushu-u.ac.jp

¹ マテリアルライブラリーとは、産業廃棄物等の原材料情報、製品の施工、接着で使われる成分の情報、経常的な互換性など、デザイナーやエンジニアの視点から見た必要な情報の基盤のこと。

² サプライチェーンとは「供給連鎖」のこと。材料の供給、加工、販売といった一連の流れ。